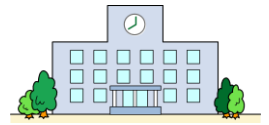


1 学期保護者・こどもアンケートの集計からみる成果と課題について

1 学期末には、アンケートに御協力いただきありがとうございました。保護者の皆様、こどもたちからのアンケートからどのような成果や課題が見られたのか、学校は改善に向けてどのような取組をしていくべきか、職員で話し合ったことをまとめました。



アンケートから分かること

※数値は、アンケートの A(とてもそう思う)と B(そう思う)を合わせた結果の割合です。

注目したアンケート項目とその結果		R 7	1 学期	結果
		こども		保護者
①	みんなで学び合う授業は楽しく、学び合うことによって授業の目標が達成できている。	95.5%		93.8%
②	みんなのことを考えて、みんなが気持ちよく生活できるように行動している。	90.9%		
③	事故、けが、災害、不審者対応など万が一の時に自分がとるべき行動について分かっている。	90.9%		96.9%
④	読書の月目標を達成している。	78.8%		
⑤	白糸タイムで興味をもって調べたい課題を見付け、意欲的に追究している。	95.7%		84.8%
⑥	進んで取り組める活動がある。	95.5%		
⑦	みんなの役に立っている。	78.8%		

①～③ 「授業が楽しい」「みんなのことを考えられる」「緊急時の判断ができる」

地域・家庭の御協力もあり、こどもたちが「笑顔いっぱい」を合い言葉に元気よく学んでいます。今年度の取組として集会の時に、校内の危険箇所などの情報をこどもと共有しています。予告無しの避難訓練と合わせて、こどもたちの危険管理意識を高めつつ、安心・安全な学校づくりを進めていきます。

④ 読書の月目標を達成している

こどもが本当におすすめしたい本を紹介する活動を計画しています。こどもたちの読解力向上もねらい、「物語」を中心に紹介していく予定です。御家庭でも、家族で読書の時間をつくるなど、ぜひ、読書に親しむ心を育てていきましょう。また、本校で行われているお話の会の読み聞かせの活動に興味がある方は、ぜひ、白糸小に御連絡ください。

⑤ 白糸タイムで興味をもって調べたい課題を見付け、意欲的に追究している

地域・家庭の御協力があり、白糸小ではさつまいも掘り、アマゴの飼育、稲刈りなどこどもたちの豊かな学びが行われています。職員間で、白糸地区に詳しい方の情報を共有し、体

験学習を充実させていきます。

⑥ 進んで取り組める活動がある ⑦みんなの役に立っている

こどもイベントの日、ハロウィンパーティーの計画など、こどもたちが自主的に活動に取り組むことによって自己肯定感・自己有用感が高まっています。こどもの良いところ見付けの紹介(白糸の実、生徒指導便り特別号)など肯定的な他者評価の充実を図り、こどもたちの社会性を高めていきます。御家庭でも、お子さんに家族の一員としてできることを話し合い、役割を果たしたときには「ありがとう」「助かるよ」と、いっぱい声掛けをお願いします。

保護者アンケート いただいた御意見より (一部抜粋)

こどもは毎日「今日も楽しくて良い日だった!」と言って帰ってきます。給食を2年生と食べたり、5年生や6年生のクラスへ行ったり、縦の関係を楽しんでいます。

・教職員一同の励みとなるお言葉、本当にありがとうございます。2学期は、こどもたちが目標に向かって粘り強く取り組めるよう、運動会の目標を保護者の皆様と共有し、学校と家庭とで励ましの言葉を掛けていきたいと考えています。持ち帰った目標カードに目を通し、目標に向かって頑張っているお子さんをぜひ、褒めてあげてください。

LEBERでの配信が多く、混乱して、見逃してしまうことがあるので、月ごとの全学年の下校時刻のお便りだけは紙で配付していただけると助かります。

・LEBERの通知が多く、保護者の皆様には御負担をおかけします。申し訳ありませんが、4月に通知しましたように、こどもの学びを豊かにする教職員の働き方改革と経費削減に引き続き御協力よろしくお願いします。

できれば夏休み中も少しでもプールを開放してもらえたらいいのになと思います。

・プールの維持管理費(薬品代、水道代、電気代)が月に十数万円程かかります。また、水質や水温を調整し、安全に水泳の授業が行えるよう学校のプールに水を入れることで地域の生活用水のタンクの水位が大幅に下がり、水道局と慎重に相談しながら給水を進めている状況です。夏休みの自由プールの再開は難しいです。

・引き渡し訓練をできれば、授業参観と同じ日にしてくれると助かります。

・連日の来校、御負担おかけしました。西富士中校区で相談し可能であれば、引き渡し訓練と授業参観が同日になるように調整します。

★コミュニティースクールが、令和8年度より発足します。地方創生の理念のもと、「学校でこどもを育てる」から「学校を中心とした地域コミュニティでこどもを育てる」という取組です。国として学校を核とした地域づくりへの発展を目指しています。今回の学校評価では、その他にも、卒業式や奉仕作業等について御意見をいただきました。いただいた御意見を実現していくために、こどもの見守りや行事運営等にお力を発揮していただける方は、ぜひ、地域学校協働本部(教頭:0544-54-0044)へ御連絡ください。